

令和5年度 麻生区市民提案型協働事業結果報告書

○おか庭クラブ（おか庭クラブ）	・・・	P 1
○あさおホッププロジェクト！みんなで作るグリーンカーテンのまち （あさおホップ実行委員会）	・・・	P 4
○岡上地域グリーンツーリズム （特定非営利活動法人 岡上アグリ・リゾート）	・・・	P 9
○麻生区 SDGs 推進隊（一般社団法人 サステナブルマップ）	・・・	P 14

令和6年3月1日

事業結果報告書

(あて先) 川崎市麻生区長 殿

団体名	おか庭クラブ
-----	--------

1 事業結果

コース	スタートコース ・ ステップアップコース	
事業名	おか庭クラブ	
実施時期	令和5年6月9日 ～ 令和6年3月1日	
事業費	予算額	129,000 円
	決算額	116,830 円
実施結果	<p>(具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など)</p> <p>① さんかくガーデン・馬頭観音ガーデンの維持管理 さんかくガーデン：6/17 7/15 8/19 9/16 10/21 11/19 12/16 1/20 2/17 馬頭観音ガーデン：6/17 7/18 9/3 9/28 10/22 11/20 12/19 12/28 1/16</p> <p>② 苧麻（からむし）講座の開催 7月15日(土) 13:00～17:00 岡上公会堂 参加者21名 講師・スタッフ6名 参加者のうち約半数10名が岡上外居住者だった。</p> <p>③ 地域文化財と花壇をめぐるウォーキング：文化財探訪 11月3日(木) 10:00～12:30 三角ガーデン 集合 馬頭観音ガーデン解散 参加者26名 講師スタッフ6名 花とアートのコラボ企画として、和光大学の「サトヤマアートサンポ」に協賛して、 両ガーデンを「スタンプラリー」の拠点として拠出。</p>	
事業総括 (自己評価)	<p>(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など)</p> <p>① さんかくガーデンは、毎月第3土曜日に完全実施。馬頭観音ガーデンは、近隣のスタッフで不定期に実施。自宅の庭の花苗を差し入れしてくれる人も増え、地域に浸透していく感触を実感した。</p> <p>② からむし講座では、参加者の約半数が岡上非居住者で、からむしの知識・歴史・生活に密着していた事を知った人々の幅が広がっていく期待を感じた。</p> <p>③ 文化財探訪では、参加者が圧倒的に岡上町内の人であったが、普段は気づかないような文化財を、歴史的背景をもとに紹介説明することで理解して、関心を持たれた人が増えたのではと感じた。</p>	

2 決算内訳

(1) 収入

項目	決算額 (円)	内訳
川崎市の負担金	100,000	
講座他参加費	16,830	講座他参加費 : 9,900 町内会賛助金 : 6,930
合計	116,830	

(2) 支出

項目	決算額 (円)	内訳
謝礼金	30,000	からむし講座 : 10,000 ウォーキング : 20,000
チラシ印刷代	5,258	からむし講座 : 2,629 ウォーキング : 2,629
消耗品費	52,223	花・肥料代
消耗品費	2,284	からむし講座材料代
消耗品費	20,266	花壇柵補修整備代
消耗品費	6,799	ベンチ補修代
合計	116,830	

※項目が多い場合は行を増やすか、別の用紙（様式自由）に記載してください。

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	(おか庭クラブ)
事業名	(おか庭クラブ)

視点	項目	判断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	1. 十分達成できた ② ほぼ達成できた 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった	当初の計画は、ほぼ達成され、新規の計画（地域文化財と花壇をめぐるウォーキング・花とアートのコラボ）も好評・成功裏に終了した。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	1. 十分満足していた ② ほぼ満足していた 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった	さんかくガーデン・馬頭観音ガーデンの定期作業中での声掛けと共に、普段の日常のなかでも両ガーデンの称賛の言葉を頂けるようになった。
	事業の経費は適正でしたか	① 大きな過不足なく適正に執行された 2. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった	想定外の経費も発生したが、最小限の負担で終わることができた。
	実施過程で問題は発生しましたか	1. 問題は発生しなかった ② 問題が発生したが適切に解決できた 3. 問題が発生し、解決できなかった	花壇の柵（丸太材木）の劣化が発生して、柵を更新する必要となったが、材木の一部を近隣の有志の方から提供を受けて、最小限の負担で更新できた。
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	① 十分効果があった 2. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった	両ガーデンの定期活動は、単独でも実施できるが、広報を必要とする企画（からむし講座等）は、岡上地域外への発信が大事で、協働による発信効果が大きかった。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	1. 十分に行った ② まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった	スタート時より、コンセンサスを取ってあったので、活動に関してはなかったが、活動中の詳細の事象については、相談の上解決出来た。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	① 対等な関係になっていた 2. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった	内容的に、特に疑義はないと感じていた。
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	① 明確かつ適切に設定できた 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった	役割分担・責任範囲の設定に疑念はないと感じていた。
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか	① 十分確保できた 2. まあまあ確保できた 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった	活動内容については、いつでも公開できるよう努めていた。
今後の課題	① 現在メンバーは高齢者が多いので、今後若年・壮年層の方を取り込み、緩やかな世代交代が必要。 ② 両ガーデンのベンチの経年劣化が起きる可能性があるため、ベンチの更新も視野に入れることが必要。		

2024年3月1日

事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

団体名	あさおホップ実行委員会
-----	-------------

1 事業結果

コース	<u>スタートコース</u> ・ ステップアップコース	
事業名	あさおホッププロジェクト！みんなで作るグリーンカーテンのまち	
実施時期	令和5年5月15日 ～ 令和6年3月1日	
事業費	予算額	279,500円（うち川崎市の負担金額199,500円）
	決算額	195,873円（うち川崎市の負担金額115,873円）
実施結果	<p>（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など）</p> <p>【説明会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホップを育てる上で必要な最低限の知識紹介（成長サイクル、活用例紹介、つるの誘因方法、育成に必要なもの、お手入れ方法など） ・ホップ育成キットの販売（購入者＝本事業の参加者） <p>2023年6月10日：9名参加・11セット配布 2023年6月18日：9名参加・9セット配布 2023年6月24日：2名参加・2セット配布 その他：3法人、8キット配布 →合計：個人20名、法人3社、30セット配布</p> <p>【Katahira Hop Farm 定例お手入れ会（月1度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻生区スポーツ健康ロード沿いの私有地の畑で定期的にお手入れ <p>2023年5月13日：お手入れ会、雑草抜き 2023年6月17日：お手入れ会、雑草抜き、ツル誘引、水やり 2023年7月8日：お手入れ会、<u>畑の拡張</u>、雑草抜きと水やり 2023年8月12日：<u>毬花収穫会</u>、雑草抜きと水やり 2023年8月30日：<u>畑看板の設置</u> 2023年9月：台風のため延期 2023年10月21日：<u>毬花収穫会</u>、水やり 2023年11月11日：<u>毬花収穫会</u>、ホップリースづくり 2023年12月10日：<u>毬花収穫会</u>、越冬に向けてツル切断、礼肥</p>	

<p>実施結果</p>	<p>【懇親会】 2023年7月8日：Café LDK で持ち寄り懇親会。 2023年9月9日：Café LDK で持ち寄り懇親会。ホップとビールの勉強会</p> <p>【SNS での交流】 日常的に相互的に交流。主に、梅雨時期で病害虫対策についての相談、真夏のグリーンカーテン完成報告、雌花と毬花の報告、料理やアートへの活用アイディアの共有、枯れツル処理の報告、根茎の大きさ報告など。</p> <p>【その他】 2023年6月30日：区役所中庭にホップを植樹、7プランター 2023年9月17日、10月1日：私有地の山林斜面に苗を2つ植栽。ホップ棚試作</p>
<p>事業総括 (自己評価)</p>	<p>(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など)</p> <p>【参加者の自宅の緑化活動】 本年度は既にある株を増殖させてお配りするつもりでしたが、株分けによる増殖は失敗し、水や土での挿し芽による増殖もはじめはコツがつかめず根付くことなく失敗が続きました。予定外ですが、保険として岩手県の農家様からホップの苗を13株購入しました。最終的に効率的な方法は確立できたため、来年度には活かすことが可能です。本年度の参加者も、去年度からの参加者も、自宅で毬花を収穫できた方は多い一方で、なかなか毬花が実らない方も一定数存在しました。肥料の質や pH など土の状態が大きく関係することが分かりましたので、次年度は今年度よりも栄養豊富な肥料を使用するなどし、対策したいと考えます。</p> <p>【事業者様の緑化活動】 本年度は法人3社様に、ホップを育てていただきました。黒川の企業様は自社で行なっているコンポスト肥料を利用し大量に毬花を収穫しており、大変参考になりました。また、特別養護老人ホームではベンチを囲うような柵を立てて、そこにツルを絡ませることで日除けになるように工夫をされておりました。</p> <p>【参加者の創意工夫】 ホップは参加者のアイディアで様々な用途に活用されました。前年度と同じようなメニューを作られていたり、ホップを混ぜ込んだクッキーやパウンドケーキを作る参加者もいらっしゃいました。</p> <p>【メディア実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タウンニュース麻生区版 (3回) ・テレビ神奈川 LOVE かわさき (1回) <p>【その他の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(活動の場所と周知) 現在メインで活動を行う場所は、自宅と片平ホップファームですが、駅から徒歩15分と少し離れております。多くの人に活動を知っていただきメンバーを増やしていくためには駅前など人通りの多い場所での活動も必要と感じました。 ・(虫対策と土) 区役所に植樹したホップは、初年度は毬花をつけることができませんでした。バナナムシも長期間取り付いており、つるから栄養を奪われてしまったのが大きな要因と思います。来年度はバナナムシの対策を行うのと並行し、黒川の企業様を参考に、来年度は土を見直し区役所での収穫祭を行えるように対策いたします。

2 決算内訳

(1) 収入

項目	決算額 (円)	内訳
川崎市の負担金	199,500	
参加者参加費	80,000	
合 計	279,500	

(2) 支出

項目	決算額 (円)	内訳
謝礼金等	0	
旅費・交通費	2,200	説明会実施時の区役所駐車料金
消耗品費	0	説明会実施時の名札用ラベルシール
消耗品費	12,583	ホップ看板の材料
消耗品費	74,437	ホップ苗、肥料、立札ステッカーなど、ハンドウィンチ、単管パイプなど
印刷製本費	11,910	配布チラシ印刷代など
通信運搬費	42,075	チラシポスティング費用
使用料・賃借料	39,600	LDK 使用料
保険料	0	イベント保険料
その他	13,068	HP 管理料
合 計	195,873	

(3) 戻入

279,500 円 - 195,873 円 = 83,627 円

※項目が多い場合は行を増やすか、別の用紙（様式自由）に記載してください。

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	(あさおホップ実行委員会)
事業名	(あさおホッププロジェクト！みんなでつくるグリーンカーテンのまち)

視点	項目	判断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	①. 十分達成できた 2. ほぼ達成できた 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった	個人だけでなく法人企業様にもホップ育成キットとノウハウの提供を行い、緑化推進の手助けができた。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	1. 十分満足していた ②. ほぼ満足していた 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった	ホップファームでの活動の満足度は最高であった。各所で育てている苗については穂花がならないなど育て方の改善が必要と感じた。
	事業の経費は適正でしたか	①. 大きな過不足なく適正に執行された 2. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった	予算内に納めた。
	実施過程で問題は発生しましたか	①. 問題は発生しなかった 2. 問題が発生したが適切に解決できた 3. 問題が発生し、解決できなかった	今年の夏の猛暑により、穂花やツルが焼けてしまい育成状態に異常がでてしまったが、涼しくなると改善した。
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	①. 十分効果があった 2. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった	区役所にホップを植樹したことを地域新聞に取り上げていただいたり、TVKでご紹介いただくなど、単独での活動では困難だったと感じた。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	1. 十分に行った ②. まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった	説明会を実施した際にお伝えはできた。常連メンバーからよりよい運営方法について多数の提案を受けた。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	①. 対等な関係になっていた 2. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった	事業を実施する上で全く問題がなかった。
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	①. 明確かつ適切に設定できた 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった	適切に行われていた。
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたが	①. 十分確保できた 2. まあまあ確保できた 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった	前年度の経験をベースにしながら、必要の際は適宜連絡をとることができた。
今後の課題	・次年度からは、今年度得た刺し芽のノウハウを生かして、農家様からの苗の購入を控えることで支出を削減したい。		

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

- ・育成が順調だった黒川の企業様にならない、コンポスト肥料を使用した育成も推進したい。メンバーの中には生ごみを土に換える「コンポスト」を家庭でも行なっている方がいるため、情報を共有し毬花を収穫しやすい育成方法を確立したい。
- ・活動メンバーの増加や活動自体の周知のために、駅前などより人通りの多い場所での活動を広げていきたい。

令和6年2月28日

事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

団体名	岡上アグリ・リゾート
-----	------------

1 事業結果

コース	スタートコース ・ ステップアップコース	
事業名	岡上地域グリーンツーリズム	
実施時期	令和5年 5月 10日 ～ 令和6年 2月 28日	
事業費	予算額	628,600 円
	決算額	625,652 円
実施結果	<p>（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など）</p> <p>岡上地域グリーンツーリズムでは、今年度の取り組みとして【都市農業・歴史文化・川崎市制100周年&全国緑化フェア記念事業】の3つの魅力発信に繋がる取り組みを行った。</p> <p>【都市農業の研究と魅力発信】 和光大学と連携して秋の収穫イベントを実施した。（10月14日） さつまいもと禅寺丸柿の収穫体験を実施、お土産に岡上の玄米を渡した。 募集人数以上に集まり先着順となってしまった。</p> <p>【歴史文化の魅力発信】 和光大学と協力し岡上地域の歴史文化について研究を行い、9/28には歴史の発表を和光大学で開催した。当日は区長をはじめ地域と関係のある団体にもご参加いただいた。研究の成果として学生主導の子供達を対象とした歴史探索ツアーを開催（11/4）した。 学生が子どもたちにわかりやすいように解説しながら岡上地域を散策した。 学生の研究結果をもとに、岡上グリーンツーリズムのHPに歴史文化の情報を掲載。また、岡上地域の電子マップを制作しHPに掲載し</p>	

	<p>た、このことにより岡上に訪れる方が自身でダウンロードして持ち歩くことが可能となった。</p> <p>【川崎市制 100 周年&全国緑化フェア記念事業】 ワイナリーイベント(5/21)の開催と同時にワイン用葡萄の栽培サポーターを募集した。100 周年にちなみ 100 本の苗を用意した。100 名とはいかなかったが 90 名のサポーターが集まった。</p> <p>(一社) OIV 品種登録協議会の指導のもと、明治大学アグリサイエンス研究室が苗木を育て、栽培の手順書を明治大学川島範久研究室の学生が完成させ配布した。</p> <p>また、秋に開催したワイナリーイベント(11/3)では、和光大学が前期授業で完成させたピザ窯で来場者に 100 枚のピザ作りを行い、明治大学アグリサイエンス研究室の学生が地域特産物の柿に合う料理の提案、明治大学川島範久研究室の学生が会場にワインのクイズなどの飾りを、田園調布学園大学の学生は障害者の方と共に岡上の野菜を販売した。</p>
<p>事業総括 (自己評価)</p>	<p>(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など)</p> <p>【都市農業の研究と魅力発信】 収穫体験も 3 年目となると学生たちも準備や子供達への対応も上手になってきた。参加者からは 1 年中実施してほしいとの声が聞かれたことは良かった。次年度以降はよりたくさんの実施を検討したい。</p> <p>【歴史文化の魅力発信】 学生が自らの足で岡上地域を歩き回り得た情報をもとに魅力を探って行った。歴史については若い世代に関心を持ってもらえないことが課題でもあったが、学生目線で研究を行なっていただけたことで子どもたちにも伝わりやすい情報となった。歴史ツアーでは予定より参加人数が少なかったことは反省点でもう少し小学生に魅力と思ってもらえる内容を検討したい。学生が集めた歴史文化の情報をもとにし、岡上グリーンツーリズムの HP に歴史文化ページが追加され、岡上の電子マップも掲載した。今後岡上地域に訪れる区内外の方に、より岡上の魅力を知っていただけるのではないかと考えている。</p> <p>【川崎市制 100 周年&全国緑化フェア記念事業】 川崎市制 100 周年が区内外の方に全然浸透していないことに驚いた。しかし、イベント実施の際に告知できたことにより次年度以降の取り組みに区民と団結する良い機会となった。特にイベントでは学生が主体とな</p>

って取り組んだことにより参加者からは「活気があるイベントでパワーをいただいた」との言葉を多々いただいた。学生と区民が交流できる仕組みをもっと検討していきたい。

また、次年度以降に連携を検討していた「和光大学アートサンポ」と同時期開催もできたことで、より岡上の魅力を地域で協働で発信できたことは成果であった。

次年度以降も継続して「岡上地域グリーンツーリズム」を実施していきたいと考えている。

2 決算内訳

(1) 収入

項目	決算額 (円)	内訳
川崎市の負担金	500,000	
団体負担金	55,652	自社負担金
参加費	70,000	収穫イベント /20,000 円 (20 名×1,000 円) 歴史ツアー /5,000 円 (10 名×500 円) 葡萄栽培サポーター 45,000 円 (90 名×500 円)
合計	625,652	

(2) 支出

項目	決算額 (円)	内訳
謝礼金等	210,000	和光大学小林猛久ゼミ/100,000 円 明治大学アグリサイエンス研究室/50,000 円 明治大学川島範久地域デザイン研究室/30,000 円 一般社団法人 OIV 登録品種協議会/30,000 円
消耗品	18,412	インク・用紙・肥料等
印刷製本費	394,240	秋の収穫チラシ/27,500 円 歴史ツアーチラシ/27,500 円 春のイベントチラシ/30,800 円 記事広告/44,000 円 秋のイベントチラシ/33,440 円 広告記事/44,000 円 岡上歴史 HP 制作/132,000 円 岡上電子マップ制作/55,000 円
保険料	3,000	保険料 3 回分
合計	625,652	

※項目が多い場合は行を増やすか、別の用紙（様式自由）に記載してください。

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名 (NPO 岡上アグリ・リゾート)
事業名 (岡上グリーンツーリズム)

視点	項目	判断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分達成できた 2. ほぼ達成できた 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった 	岡上地域の魅力発信のため、ほぼ提案書通りの内容で勧められた。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分満足していた 2. ほぼ満足していた 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった 	イベントでは予想以上の参加者に訪れていただいた、参加者からは岡上に初めて訪れた方もいて「麻生区にこれだけの環境があると驚いた」と魅力を感じていただける機会となった。
	事業の経費は適正でしたか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大きな過不足なく適正に執行された 2. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった 	謝礼金が少し多くなった代わりに、印刷製本費を削減することができ、全体的な経費は予定通りとなった。
	実施過程で問題は発生しましたか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 問題は発生しなかった 2. 問題が発生したが適切に解決できた 3. 問題が発生し、解決できなかった 	特になし
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分効果があった 2. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった 	広報の面でも区役所の協力もあり、緊密に連絡が取れており、協働で実施した効果があった。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分に行った 2. まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった 	十分に行った。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対等な関係になっていた 2. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった 	対等な関係となっていた。
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 明確かつ適切に設定できた 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった 	適切に設定できた。
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分確保できた 2. まあまあ確保できた 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった 	十分できた。
今後の課題	令和6年度は、麻生区には川崎市制100周年の主な会場がないことが残念であるが、岡上地域がその役割として「グリーンツーリズム」を実施したいと考えている。		

2024 年 2 月 26 日

事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

団体名	一般社団法人サステナブルマップ
-----	-----------------

1 事業結果

コース	スタートコース ・ ステップアップコース	
事業名	麻生区 SDGs 推進隊	
実施時期	令和5年5月18日 ～ 令和6年2月26日	
事業費	予算額	792,760 円
	決算額	813,577 円
実施結果	<p>（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など）</p> <p>7月15日（土） 【第一回】 SDGs 推進隊活動～マイタイムラインでお互いを知る～ 8月5日（土）【第二回】 SDGs 推進隊活動～危険な道路を調べる～ 8月13日（日）【特別回】 川崎巡視艇ツアー 8月20日（日） 【第三回】 SDGs 推進隊活動～SDGs×医療のエコを考える～ 9月3日（日）【第四回】 SDGs 推進隊活動～明治大学黒川農場～ 9月16日（土）【特別回】 琴平神社でデジタルデトックス 9月23日（土）【特別回】 SDGs 推進隊活動～（一社）サバーソニック & アジロックフェスティバル in 静岡県伊東市～ 10月14日（土）【第五回】 SDGs 推進隊活動～マップ作り～ 10月22日（日）【特別回】 SDGs 推進隊活動～かわさき FM 出演～ 11月23日（木）【第六回】 SDGs 推進隊活動～黒川野外活動センター～ ※その他、片平アートロジ 「はひふへ Photo」 イベント協力</p> <p>令和6年2月10日（土） SDGs マルシェ in あさお 推定参加人数 700 名程度</p> <p>計画時 6 開催→計 11 開催</p>	

<p>事業総括 (自己評価)</p>	<p>(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など)</p> <p>設定回数を上回り、全 11 開催となった。</p> <p>本年度の計画自体を、参加者である推進隊の子どもたちからヒアリングし、関係各所へのコンタクトを取った。</p> <p>また特別回として、川崎港での巡視艇乗船ツアー、FM ラジオ番組の制作および放送体験、静岡県伊東市での海洋教育など、麻生区から飛び出す形でイベントを行った。</p> <p>8 月にはアステラス製薬様・ミライアルかわさき様との共催イベントとして、医療のエコ活動推進イベントを実施。</p> <p>昨年度法人化したことによる企業や団体との関係構築は一定程度の成果を出したと考えている。</p> <p>また 2 月 10 日に実施した「SDGs マルシェ in あさお」は、共催として麻生区、新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムの協力のもと、市民主導で行ったイベントとしては今後の活動の大きな足掛かりとなった。</p> <p>推進隊参加者（および保護者）の反応は継続して高い評価を得ており、クレームは一切ない。</p> <p>サステナブルマップは 98 掲載となり、さらに繋がりが醸成されたものとなっていると考える。</p> <p>市民提案型協働事業として 3 か年取り組ませていただいたが、何も持たない市民団体がここまで活躍できるようになったのも、関りをいただいているすべての方々のおかげであると強く思う。</p> <p>これを一過性の活動とせず、継続して展開し、もってシビックプライドの醸成を子どもたちと共に推し進めたい。</p>
------------------------	--

2 決算内訳

(1) 収入

項目	決算額 (円)	内訳
川崎市の負担金	500,000	
参加者参加費	120,000	レギュラー参加費、スポット参加費
団体負担金	78,577	
賛同者負担金	115,000	法人協賛金
合 計	813,577	

(2) 支出

項目	決算額 (円)	内訳
旅費交通費	30,000	¥5,000×6
消耗品費	39,032	文具代等
印刷製本費	55,000	A1 地図 700 枚
印刷製本費	60,026	チラシ印刷×3 回
印刷製本費	71,500	A0 地図 20 枚
デジタル マップ作成費	215,000	データ作成およびサービス利用料
デザイン料	165,000	サステナブルマップデザイン料
通信運搬費	22,334	ZOOM 使用料、切手代
使用料・ 賃借料	146,950	SDGs マルシェ in あさお 会場使用料 黒川青少年野外活動センタープログラム料
保険料	7,952	ボランティア行事用保険
その他	783	振込手数料

合 計	813,577	

※項目が多い場合は行を増やすか、別の用紙（様式自由）に記載してください。

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	(一般社団法人サステナブルマップ)
事業名	(麻生区 SDGs 推進隊)

視点	項目	判断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	① 十分達成できた 2. ほぼ達成できた 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった	当初予定 6 回の活動が、11 回となり、様々なステークホルダーとの連携が図れた。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	① 十分満足していた 2. ほぼ満足していた 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった	事故・クレームは 1 件もなく、無事に終わることが出来た。本活動の意義は達成できた
	事業の経費は適正でしたか	① 大きな過不足なく適正に執行された 2. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった	SDGs マルシェの実施により予算が膨らんだが、適正に実施できた
	実施過程で問題は発生しましたか	① 問題は発生しなかった 2. 問題が発生したが適切に解決できた 3. 問題が発生し、解決できなかった	事故・クレームは発生していない
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	① 十分効果があった 2. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった	特に SDGs マルシェについては共催での実施となることで、今後の足掛かりになった
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	① 十分に行った 2. まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった	都度連絡・連携が取れていた
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	① 対等な関係になっていた 2. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった	特に問題はなかった
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	① 明確かつ適切に設定できた 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった	特に問題はなかった
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか	① 十分確保できた 2. まあまあ確保できた 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった	特に問題はなかった
今後の課題	本年度で 3 回目の市民提案型協働事業であったが、予定した内容はすべて実行できた。学校横断型で参加者が集まったことから、かえて小中学校からのご連絡をいただくなど、官民学がつながるきっかけを作れた。非営利型である以上、活動原資を今後も集める必要があり、協賛企業を増やすためのアクションが必要である。		